

公表:令和元年11月20日

【5/5:100%】 事業所名: 児童発達支援ひかり

|          |   | チェック項目  | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標  |
|----------|---|---|----|-----------|-----|--|---|
| 環境・体制整備  | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか  | 4  |           | 1   | 広いスペースをコンパクトにマットで仕切り空間を大切にしている                 | 放課後等デイの利用前は、児童においては広すぎる。仕切りを使用している。   |
|          | ② | 職員の配置数は適切であるか   |    | 3         | 2   | 時間によって職員配置不足が生じる。送迎車両の運転等、本体職員で対応。             | 安定した平均利用率(定員5名)の確保に向け、食事料金の改定、リハスタッフとの関係を強化する。  |
|          | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか   | 4  |           | 1   | 研修室を改修した事業所なので空間はあるが、出入り口が狭い。しかし、全体的には使い勝手が良い。 | 活動室が建物の2階であり、1階に生活介護が活動している。電話回線等は1本のため、1階に電話が集中し、取次で混線することが度々ある。ペランダに出るスロープを作り、バリアフリー化された。 |
|          | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | 5  |           |     | 当番制による掃除を行っている。                                | 横になり休息や体を動かすスペース、バギーに乗車し移動する空間があり、有効に活用している。  |
| 業務改善     | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか  | 3  | 1         | 1   | 個別支援計画に沿って日々、ミーティングを行い気付いた点を出し合い、改善につなげている。    | 計画・実行・評価・改善を意識し振り返りを行っている。継続した取り組みを実践していく。  |
|          | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか  | 3  | 2         |     |  | 出来ること・時間を要すること・継続することなどを分類し、保護者の皆さんと意見交換し、より良いものにしていく。                                      |
|          | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                   | 3  | 1         | 1   | 会報並びに事業所内に掲示している。                              | ホームページを今年度見直したので、公表していく。  |
|          | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか   | 2  | 3         |     |  | 第三者評価は予定なし。保護者懇談、個別の意見要望を真摯に受け止める。  |
|          | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか  | 3  | 1         | 1   | 研修は可能な限り派遣している。                                | 園内の実践発表も積極的に取り組み障がい児通所支援の実態等を伝えている。   |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか   | 5  |           |     |  |   |
|          | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか   | 4  |           | 1   |  | 標準化されたアセスメントツールは使用していない。独自の様式にて、必要な情報を得るようにしている。  |
|          | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 5  |           |     |  |   |

|                          |   |   |   |   |   |                                |  |
|--------------------------|---|---|---|---|---|--------------------------------|--|
|                          | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 5 |   |   |                                |  |
|                          | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか   | 3 | 1 | 1 |                                | 保育士中心に計画している。そこにスタッフの意見を取り入れ、計画を立てている。                       |
|                          | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか   | 4 | 1 |   | 製作活動、感覚遊び、レクリエーションなど折交ぜて計画している | 週計画・月計画・年計画により偏りをなくすよう工夫している。                                |
|                          | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか                                 | 3 | 1 | 1 |                                | 実践から計画でなく、アセスメント・計画・実行・評価・改善の順で支援計画を作成している。                  |
|                          | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                               | 1 | 3 | 1 |                                | 二交代制なので全員ではできないが、チームとして行っている。                                |
|                          | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                          | 1 | 4 |   |                                | 勤務体制が二交替のため、必ず支援終了後持つことはできない。しかし、連絡帳・ホワイトボードを使って引き継ぐことはしている。 |
|                          | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか   | 5 |   |   |                                |  |
|                          | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか  | 5 |   |   |                                |  |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                            | 3 | 2 |   |                                | 児童発達支援管理責任者と担当者が出席している。                                      |
|                          | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか  | 5 |   |   |                                |  |
|                          | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 5 |   |   |                                |  |
|                          | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか              | 4 | 1 |   |                                | 診療情報提供書や個人票を必ず頂くようにしている。                                     |
|                          | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                | 1 | 3 | 1 |                                | 主たる対象を重症心身障害のため、移行支援の該当というより、支援センターとの情報交換が主となる。              |
|                          | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                            | 4 |   | 1 |                                | 主たる対象を重症心身障害のため、移行支援の該当というより、支援センターとの情報交換が主となる。              |
|                          | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                     | 3 | 2 |   |                                | 電話メールを通して連携している。   |
|                          | ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか                                     |   | 2 | 3 | 計画段階にある。                       | 2年前に、小学生によるオペレッタを招いたが以後、声が掛からない。                             |

|            |    |   |   |   |   |                                      |  |
|------------|----|---|---|---|---|--------------------------------------|--|
|            | ②⑨ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか  | 1 | 1 | 3 | 案内はいただくが、時間・会場の関係で積極的に参加はしていない       | 機会をみつけ参加できる体制を検討したい。   |
|            | ③⑩ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか   | 4 | 1 |   |                                      | 送迎時の伝達並びに連絡帳が中心ですが、モニタリングや支援計画の説明時に、意見要望等を言える環境を作っています。          |
|            | ③⑪ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか   | 2 |   | 3 |                                      | 主たる対象が重症心身障害児のため、ペアレント・トレーニングでなく、MSW、保健師、センターの相談員との協働による支援が主である。 |
| 保護者への説明責任等 | ③⑫ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | 3 | 2 |   |                                      | 主に管理者と児発管が関わっている。  |
|            | ③⑬ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 4 | 1 |   |                                      | 児童発達支援管理責任者と担当者が説明する。  |
|            | ③⑭ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | 4 | 1 |   |                                      |  |
|            | ③⑮ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか   | 2 | 2 | 1 |                                      | 任意の父母の会がないので、毎年保護者懇談会を企画しています。そこで出る意見に対し回答も含めしっかり受け止めています。       |
|            | ③⑯ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか                           | 4 | 1 |   |                                      | 迅速に対応する体制はできていると思います。  |
|            | ③⑰ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか   | 5 |   |   |                                      |  |
|            | ③⑱ | 個人情報の取扱いに十分注意しているか  | 5 |   |   |                                      |  |
|            | ③⑲ | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか   | 5 |   |   | 配慮として工作上、電話ではなくメールを希望する方には、メール対応をする。 | 送迎時の引継がペルパーの時は、母に伝達できるようツールを作成し、ヘルパーの負担を軽減している。                  |
|            | ④⑰ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   | 5 |   |   |                                      | ひかり祭りの回覧を通して来所いただき交流している。また、冬場は、通学路の一部確保にも協力している。                |
| 非常時等の対応    | ④⑱ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか                                  | 2 | 3 |   |                                      | 作成しているが周知されているかを検証したい。周知するため、想定訓練の実施を計画していく。                     |
|            | ④⑲ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 5 |   |   |                                      |  |
|            | ④⑳ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか  | 5 |   |   |                                      |  |

|    |   |   |   |  |  |  |
|----|---|---|---|--|--|--|
| ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか                        | 5 |   |  |  | 食札にアレルギー項目を記載。献立表の横にアレルギー一覧を掲示。食介前に最終確認を実施する。      |
| ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 3 | 2 |  |  | 事故対策委員会が出されたインシデントレポートの振り返りや、研修会に参加し意識付けしている。      |
| ④⑥ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 5 |   |  |  | 虐待防止委員会で研修を行うとともに虐待防止セルフチェックも行っている。                |
| ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 5 |   |  |  | 虐待防止委員会で拘束に対する同意を求めるが、対象児童はいない。また、重要事項説明書にて周知している。 |

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表: 令和元年11月12日

事業所名: 児童発達支援ひかり

保護者等数(児童数)

回収数 2/5

割合 40 %

|                  |   | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見      | ご意見を踏まえた対応                                      |
|------------------|---|---|----|---------------|-----|-------|----------|---|
| 環境・<br>体制整備      | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 2  |               |     |       |          |   |
|                  | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか   | 1  | 1             |     |       |          | 何か適正が見えない所があると思います。個別支援計画に沿ってしっかり関わりを持たせていただきます |
|                  | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか   | 2  |               |     |       |          |   |
|                  | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | 2  |               |     |       |          |   |
| 適切な<br>支援の<br>提供 | ⑤ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか  | 2  |               |     |       |          |   |
|                  | ⑥ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 2  |               |     |       |          |   |
|                  | ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 2  |               |     |       |          |   |
|                  | ⑧ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか  | 2  |               |     |       |          |   |
|                  | ⑨ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか   |    |               | 1   | 1     | ・求めています。 | 対象児は医療を要することから、児童発達支援センターを中心とした交流となっている。        |
| 保護者<br>への<br>説明等 | ⑩ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか  | 2  |               |     |       |          |   |
|                  | ⑪ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか   | 2  |               |     |       |          |   |
|                  | ⑫ | 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか   | 1  |               |     | 1     |          | ペアレントトレーニングは積極的に受け入れていない。保護者支援は懇談回答を呼びかけている。    |

|        |   |   |   |   |   |  |  |
|--------|---|---|---|---|---|--|--|
|        | ⑬ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか                                      | 2 |   |   |  |  |
|        | ⑭ | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか  |   | 2 |   |  | モニタリングや支援計画の説明が中心。日々、声を掛けさせて頂きます。                                  |
|        | ⑮ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか   |   |   | 2 |  | 毎年11月に保護者懇談会を開催しています。ご案内もさせていただいていますので、一度参加してみてください。お待ちしております。     |
|        | ⑯ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 2 |   |   |  |  |
|        | ⑰ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか   | 2 |   |   |  |  |
|        | ⑱ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか              | 2 |   |   |  |  |
|        | ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか   | 2 |   |   |  |  |
| 非常時の対応 | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか          |   |   | 2 |  | 緊急時の連絡先の確認。流行性の予防の啓発をしているが、マニュアルの周知はしていない。スタッフに周知し的確に対応するよう心掛けている。 |
|        | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか   |   |   | 2 |  | 毎年2回、消防職員立ち合いで訓練を実施している。   |
| 満足度    | ㉒ | 子どもは通所を楽しみにしているか  | 2 |   |   |  |  |
|        | ㉓ | 事業所の支援に満足しているか  | 2 |   |   |  |  |

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。